

留 学 報 告 書

記入日：
2020年7月22日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部・国際日本学科
留学先国	タイ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文： チュロンコン大学 現地言語： จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย
留学期間	2019年8月～2020年4月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	経営学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年4月8日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月上旬～12月中旬 2学期:1月上旬～5月上旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	34,996
創立年	1917

留学費用項目	現地通貨 (バーツ=3.4 円)	円	備考
授業料		0円	大学間協定留学のため
宿舍費	10800	円	
食費	90500	円	
図書費	4000	円	
学用品費		3000円	
携帯・インターネット費	2997	円	
現地交通費	13550	円	行きは無料シャトルを利用(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		20000円	
被服費		30000円	
医療費		3000円	歯科を訪れたため
保険費		47990円	形態:明治大学保険
渡航旅費		145400円	コロナウイルスの影響で帰路の旅券が高騰した
ビザ申請費	6800	9000円	
雑費		42000円	
その他	450	円	成績証明書等、学校の費用
その他		円	
合計	129097	300390円	合計 790,959円

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:羽田空港 目的地:スワンナプーム空港 経由地:

復路 出発地:スワンナプーム 目的地:羽田空港 経由地:

渡航費用

①往復チケットを購入した場合

航空会社: _____

料金: _____

②片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社:タイ国際航空 料金:66,400

復路 航空会社:日本航空 料金:79,000 ∴合計:145400

航空券購入方法

旅行代理店(店名:近畿日本ツーリスト) インターネット(サイト名:航空会社ホームページ) その他()

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前: _____) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 _____)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学から勧められたアパートを借りた。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

チュラロンコン大学ビジネススクールに留学している多くの学生はこのアパートを利用しているため、友人作りや授業外での課題をする際に非常に役立った。しかし、タイ人との交流という点ではあまりお勧めできない。

最寄りの駅までは貨物列車用の線路の上を歩くか、高速道路のましたを歩くかの二択で、どちらも歩いて15分程度かかる。また、スクンビットやサムヤンへは比較的近くGrabを利用すれば50パーツ前後で移動ができる。

近くに屋台が三件しかなく、食事は基本的にその屋台か、学校近くのモール、GrabやFood Pandaでオーダーの三通りです。平日はアパートから学校へ無料のシャトルが出ているが、留学生が多く、乗れるか乗れないかは運しだいなどころがあるため、バイクで最寄り駅まで送ってもらうか、数人でタクシーを共有して通学していました。

部屋の広さは一人部屋にしては広くスペースに問題はなく、個人的に問題はなかったか、下の階の友人から、ハチ、アリ、ゴキブリ、ヤモリ、クモなど多種多様な生物が不法侵入するという話を聞いた。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)

なしあり(治療を受けた場所: 日本人専用の歯科病院 _____)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)

なしあり(問題の内容や相談した人等: アパートの管理人, 大学の事務室 _____)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

基本的に集団で生活するようにしていました。近くのコンビニに行く際、街灯一つないところを通らなければならず危険であったため友人と待ち合わせていった。基本的にタクシー移動であったり、持ち物の管理には気を付けるようにしていた。大使館からのメールや留学生同士で情報を共有し、危険があった場合は知らせ合うようにしていた。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

寮のインターネットは壊滅的に悪かった。そもそもつながらず、つながっても通信速度が遅かったり、勝手に切れたりパソコンに触れる状態ではなかったため、携帯をギガ使い放題のパッケージに変え、パソコンを使用していた。

学校やカフェ、コンビニのWi-Fiは日本のそれと変わらず安定して利用できた。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか?

大学から口座を開きたい場合は無料で開設できるよう書類をもらうことができる。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

特になし

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか? 最大7つまで、5か6が好ましい数と説明がありました。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Man & Environment	
科目設置学部・研究科	Faculty of Science, Department of Biology
履修期間	12 August - 7 December 2019
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Nontiwich Tandavantij, Pongchai Dumrongrojwatthana, Orawan Satayalai
授業内容	Introduction to the key concepts and principles on how nature works; understanding of the basic relationships between man and environment; bio-history of man and echosphere; explanation to demonstrate interconnection between environmental and resource problems and human and must be understood by multidisciplinary, holistic approach; suggestion to the solutions of sustainable earth society
試験・課題など	中間テスト、期末テスト、グループプレゼン
感想を自由記入	毎回授業で講義の内容をグループでディスカッションをし、発表する 環境問題を解決するために何をすべきかを最後の授業でコンペ形式で発表する。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Business Concepts and Ethics	
科目設置学部・研究科	Faculty of Commerce and Accountancy, Department of Banking and Finance
履修期間	14 August - 27 November 2019
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Joe Lobbato
授業内容	The course will give students their first comprehensive introduction to the key concepts of business and management from an Ethics point of view. The course will focus on ethics and business and the connections between business, social values and social responsibilities. In addition to classroom lectures, the class will use a variety of teaching methods and teaching aids to practice the concepts introduced in class: homework assignments, quizzes, case studies, class discussion and a team-based case presentation
試験・課題など	3回の小テスト、グループ発表、中間テスト、期末テスト
感想を自由記入	元アクセントチュアの戦略コンサルタントのパートナーや多数の企業でCOOであった教授が実際の事例から企業倫理や経営戦略について講義してくれる。また、企業が起こして不祥事について取り上げ、問題点と解決案をグループ発表する。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Management Organization	
科目設置学部・研究科	Faculty of Commerce and Accountancy
履修期間	14 August - 27 November 2019
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Assoc. Prof. Dr. Pachsiriy Chompukum
授業内容	Nature of organization; managerial process; role of managers and functions of management; planning, organizing, staffing, directing, motivating, and controlling; nature of authority, accountability and responsibility; analysis of managerial roles and the concept of leadership.
試験・課題など	中間テスト、期末テスト、グループプロジェクト、個人レポート
感想を自由記入	2週間に一度のペースで授業内容に関するプレゼンがある。(個人、グループ)

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Business Economics	
科目設置学部・研究科	Faculty of Commerce and Accountancy
履修期間	August 20 - November 26, 2019
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が1回
担当教授	Assoc. Prof. Chalaiporn Amonvatana, Ph.D
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. To help students both understand and improve the managerial decision making process. 2. To provide a solid foundation of economic understanding for use in managerial decision making. 3. To introduce quantitative methods and tools to facilitate the practical use of economics in decision situations. 4. To illustrate a practical problem solving approach to the study of business economics.
試験・課題など	中間テスト、期末テスト
感想を自由記入	企業の売上げなどを計算し、求める授業です。数学の基礎的な致死が必要になります。中間テスト 50%期末テスト 50% で成績を評価されますが、出席回数にも基準があります。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Business Finance	
科目設置学部・研究科	Faculty of Commerce and Accountancy, Department of Banking and Finance
履修期間	13 August ~ 08 December 2019
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Asst. Prof. J. Thomas Connelly, Ph.D Jananya Sthienchoak, Ph.D
授業内容	Financial statement analysis; financial planning and forecasting; working capital management; principles of risk and return; basics of financial security valuation; sources of funds and cost of capital; capital budgeting; capital structure; payout policy; derivatives securities. See additional information on the attached pages
試験・課題など	毎週の小テスト、学期をかけて一つのレポート、中間テスト、期末レポート
感想を自由記入	毎週小テストが行われ、成績も公表される。 一つの業界についてアナリストとなり、経営状況を分析する。 タフな授業ではあるが、これさえ受けておけばファイナンスの基礎はすべてわかる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Principles of Marketing	
科目設置学部・研究科	Faculty of Commerce and Accountancy / Marketing
履修期間	15 August ~ 10 December 2019
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Asst.Prof. Dr. Panithan Juntongjin Dr. Ake Pattaratanakun
授業内容	Marketing is one of the fundamental business functions. In this class, you will be exposed to a way of thinking about marketing that is grounded by a customers-dominant paradigm and focuses on identifying, understanding, and enhancing the customer experiences. You will also learn analytical skills and gain knowledge needed to develop and implement marketing strategies for competitive advantage across industries. Further, you will learn to design marketing processes, assess and deliver customer satisfaction, and diagnose and enhance branding and marketing communications strategies. All in all, in this class, we will discuss how marketing process can be used to sustain a company. This course is an interactive, experiential learning environment. We will be using an active learning model whereby we are co-producers of our knowledge. You are responsible for your own learning process and outcomes. Applying this approach means we will use a variety of learning tools, including lectures, discussion, mini scenarios, textbook, cases, multi-media presentations, and group projects as follows
試験・課題など	中間レポートと期末試験
感想を自由記入	マーケティングに基礎を実際の企業がとった案をもとに考察する。 また、授業では先生が提示した商品やサービスをどのように売り出していか、グループ発表あり。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Managing Organization and Innovation	
科目設置学部・研究科	Faculty of Commerce and Accountancy
履修期間	8 January 2020 - 29 April 2020
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Assoc. Prof. Dr. Mongkolchai Wiriyapint
授業内容	Concepts of organization changes; process of change; internal and external change response; managing change resisitance; organization development; entrepreneurship; business creativity development; concepts and development of organization innovation
試験・課題など	期末テスト、毎回授業で行うロープレ
感想を自由記入	講義内容をもとに毎回の授業でロープレがある。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Personal Finance	
科目設置学部・研究科	Faculty of Commerce and Accountancy/Banking and Finance
履修期間	8 January 2020 - 29 April 2020
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Jananya Sthienchoak, Ph.D
授業内容	Personal financial management concepts and process; personal financial statements and ratio analysis; budgeting; time value of money concept; cash and liquidity management; debt management, credit card, and loan uses; major purchase decision making; risk management and insurance planning; investment planning and choices; tax planning; retirement planning.
試験・課題など	中間テスト、期末レポート
感想を自由記入	個人の資産運用(ローン、投資)などを学ぶため、個人によって答えが変わるテストがある。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
International Trade	
科目設置学部・研究科	Faculty of Commerce and Accountancy
履修期間	9 January - 7 May 2020
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Prof. Ashok Sadhawani
授業内容	History of Innetrnational Trade;Growth and Developments in Trade; Global Trade Agreements; Barriors of Trade; Import Basics; Customs Regulations and Rules of Orogen; Global logistics and International Transportation; Incoterms and Landed Cost; Trade risk management and Marine insurance;I Intellectual Property Rights and Ecommerce; WTOs Trade facilitation Agreement
試験・課題など	貿易プロジェクト、中間テスト、毎回の小テスト、期末テスト
感想を自由記入	教授は UCLA からの教授のため、UCLA 生と交流することがある。また、実際に企業と協議して、商品を海外に輸出あるいは輸入する。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Brand Product and Management	
科目設置学部・研究科	Faculty of Commerce and Accountancy/ Marketing
履修期間	7 January 2020 - 5 April 2020
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Proffesor Dr. Guantalee Ruenrom
授業内容	Students can explain the customer value, types and levels of products, product mix, new product development process, key success factor for the new project, the real case of new product development. Students can explain the meaning of brand, branding, and differentiate between brand and branding and marketing, brand equity, brand positioning and brand mantra, brand elements and brand strategies.
試験・課題など	新商品開発プロジェクト、中間テスト、期末テスト
感想を自由記入	新商品を売りだすためのグループプロジェクトに必要な要素を授業で習うが、毎回授業で実際に企業がどのような手段を用いたかグループプレゼンをする

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

One Career、マイナビ、ビズリーチ

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

商社、コンサル業界

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

教授の多くがコンサル業界出身であったため、コンサル業界を志望しようという風に思った。また、留学生と共に過ごしている間に外資企業や長期インターンへの理解が深まっていった。留学先に企業を調べたり、教授が在籍していた企業のことを聞いておくと、面接時に役立つ。

夏のインターンの選考のためにSPIやWebテストの勉強は留学中でもしておくべきだ。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	
4月～7月	明治大学入学 予防接種
8月～9月	インドネシアボランティア留学 TOEFL 受験
10月～12月	IELTS 受験 出願
2019年 1月～3月	推薦状をもらう 基本的なタイ語の勉強 保険の準備 留学先大学へ書類を送付
4月～7月	滞在先の確保 ビザ申請、取得 航空券購入
8月～9月	留学開始 授業選択 中間テスト
10月～12月	ビザ延長 期末テスト 春学期授業の選択
2020年 1月～3月	春学期開始 コロナウイルスの影響で授業オンライン化 中間テスト タイ入国制限
4月～7月	帰国 帰国書類 期末テスト 明治大学復学
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私がタイを選んだ理由は、日本企業が近年東南アジアのマーケットに注力していると聞いたからです。21世紀はアジアの時代と言われるほどアジアに注目が集まっているので、そこで1年間留学できることは非常に価値があることだと思いました。また、ASEAN 諸国を見て回りたいと考え、ASEAN のリーダー格であり、最先端の東南アジアと昔ながらの東南アジアを味わえるタイを選びました。実際タイには日本企業が多く、そこで勤めている方との交流を図ることに成功しました。

チュラロンコン大学はタイの東大と言われており、世界的に見ても評価が高い大学と言えます。外国人留学生も積極的に受け入れており、国際色も豊かです。ビジネススクールの Welcome Party は JW Marriott ホテルや St Reigis ホテルで無料で開かれていました。また、大学全体でも留学生向けの Field Trip を無料で開催するなど、留学生への集めるために努力していました。学業の面でも1回3時間の授業のため、かなりの量をみっちりやると言った授業が多かった。実際に企業で勤めた時に使える実践的なスキルを磨くため、プレゼンやディスカッションを多く用いられている。

大学は緑が多く、無料のシャトルバスが走っており、Samyan Mitrtown、Siam のモールも近いため、授業以外でもキャンパスを利用している時間は多かった。

タイは日本文化の勉強や日本語を学んでいる人が多いため、日本人というだけで交流の幅は十分に広がる。また、留学生も授業のグループワークや毎日飲み会を開いたり、交流会など交友関係を広める場は多く、友人作りで困ることは一切なかった。

いい面ばかりではなく、喘息を持っている私にとってタイの大気汚染はかなり大変でした。また、横断歩道が整備されている場所は少なく、徒歩で移動することは困難でした。

本当に多くのことを体験したタイでの留学はこれからの人生にとって間違いなく、プラスであり、後悔することはおそらくないと考えます。

私の時はコロナウイルスの影響で最後の二カ月は目まぐるしく変化しましたが、それもまたいい経験だと思っています。